

12月16日～30日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート			
04/12/16 (木)	東京は極めて狭いレンジ内での一進一退。前日までに重要な材料の発表も一巡し、この日は神経質。欧米もこの日は比較的死な動意に留まる。ただ原油価格の上昇や株安などから終盤はドル安傾向。	・第4四半期米経常赤字 1647億ドルで四半期ベースの過去最高 ・11月の米住宅着工件数177.1万戸、12月FF連銀景況指数29.6	・ロトSNB総裁「スイフラン高には適切な対処を取る」 ・渡辺財務官「動きの荒っぽさに懸念を持って見ている」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.24 103.42 104.96 104.77	139.62 138.40 140.11 138.75
04/12/17 (金)	東京はこの日もレンジ内で小動き。ただ株価が11000円台を回復したことなどから終盤はやや円高気味。欧米もこの日は比較的静かな動意に留まる。ただ原油価格の上昇や株安などから終盤はドル安傾向。	・日銀が政策決定会合で金利の据え置きを発表、月報で景気判断を若干下方修正 ・12月のIFO景況指数96.2 ・11月の米CPI0.2%	・福井日銀総裁「日銀の短期国債再乗り換えは来週の政策委で判断す」 ・ネブIFO主任エコノミスト「ユーロが上昇し続けるならECBは介入する必要があるが現在はその段階でない」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.77 104.05 104.77 104.26	138.75 138.28 138.85 138.53
04/12/20 (月)	東京は前日欧米タイム終盤の流れなどから当初はドル安でスタート。しかし続かず、結局は行って来い。欧米はユーロを中心とした値動き。欧州委のコメントに一時買いが先行するも上値は利食い売りに阻まれた。	・11月の米景気先行指数0.2%	・竹中経財相「デフレ継続中。政府・日銀が一体で克服する努力必要」 ・欧州委「ユーロは強いがまだファンダメンタルズから大きく乖離していない」 ・ウェーバー-ECB委員「介入は中銀のもつ手段の一つ。必要なら使用する」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.26 103.86 104.49 104.08	138.53 138.39 139.68 139.43
04/12/21 (火)	東京は104円挟みの揉み合い。材料が乏しい上、Xマス前で市場参加者も少なかった。欧米も全体的には薄商い。休暇入りした参加者も少なく、商いは低調。ただユーロはクロスで小じっかり。	・米ダラス連銀が退任したマクティア元総裁の後任にフィッシャー元USTR次席代表を指名	・王駐日中国大使「李台湾総督に対するどが発表は考え直して欲しい」(しかし結局この日に発給される)	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.08 103.65 104.66 104.34	139.43 138.82 139.95 139.52
04/12/22 (水)	東京は発表された経済指標を巡り一時的な乱高下を辿るも継続性はなし。レンジ的にも狭い。欧米はM&A絡みの噂からユーロが対ドルで一時上昇するも全体的には静か。米GDP上方修正も影響薄。	・11月の貿易黒字6020億円(前年同期比で 39.2%の大幅減)、10月の第三次産業活動指数 0.1% ・第3四半期米GDP確報値4.0%で改定値から0.1%の上方修正	・日銀議事録要旨「一段の円高が進めば企業収益だけでなくマインドにも影響」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.34 103.89 104.48 104.21	139.52 139.05 139.61 139.55
04/12/23 (木)	東京休場で薄商いのなかソガドル勢を中心とした買いからユーロが対ドルで上昇。円も対ドルで連れ高。欧米はドル独歩安。発表された一部の悪い指標が材料視されていたほか、一部中銀の外準ソフト思惑も。	・東京市場は休場 ・11月の米耐久財受注1.6%、同個人所得0.3%、同個人消費0.2%、同新規住宅販売件数112.5万戸、12月のミシガン大景況指数確報値97.1		ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	104.21 103.53 104.26 103.57	139.55 139.18 140.03 139.97
04/12/24 (金)	Xマスイブと言うことで東京以外はアジアでも休場の先が少なくない。この日は株高が進んだが影響限定的。欧米は開場している先が少なく、またやっってはいてもほぼ開店休業状態。	・Xマスイブで欧米の主要市場は休場	・ザルム蘭財務相「対ドルでのユーロ上昇、まだ受け入れ可能な範囲」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	103.57 103.44 103.77 103.62	139.97 139.82 140.35 140.23
04/12/27 (月)	東京は前日のスマトラ沖地震の影響などもあり円を含めてアジア通貨が小さい。ただ基本的にはレンジ内。欧米はこの日も休場が多く、まだ本調子に戻らず。しかし休暇明けの仕掛けなどからユーロが対ドルで急騰。	・インドネシアで大地震&津波発生(26日)、後の報道で死者は10万人を大きく越える ・主要欧州市場はホリデイで休場		ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	103.62 102.70 104.09 103.05	140.23 140.01 140.73 140.33
04/12/28 (火)	東京は株価の動向などをにらみつつ円が小高い。ただ財務相発言などもあり、その後相場は反転。欧米は引き続きユーロ中心の値動き。一時高値を更新する局面も見られたが、上値追いは少数派。	・11月の失業率4.5%、同有効求人倍率0.92、同鉱工業生産1.5% ・新年に人民元に関する重大発表あり、との一部リクザあり ・12月の米消費者信頼感指数102.3	・伊藤前副財務官「市場でドル安が進行しても米当局は止めないだろう」 ・谷垣財務相「年末年始の為替をよくよく注視」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	103.05 102.79 103.33 103.02	140.33 140.02 140.63 140.22
04/12/29 (水)	東京は独格下げのウリからユーロ売りで始まる。しかしAFP通信報道などもあり、その後相場は反転。欧米はクロスを中心とした動きから、結果円の独歩安。ただ終盤は入札絡みの話からドルも牙を立たない。	・AFP通信「ハグダッドで爆発、警官28名が死亡」 ・11月の米中古住宅販売694万戸 ・米2年債入札で外国中国などの間接応札が34%とこの1年間で最低に	・「S&Pが独を格下げする」とのウリサ(元々は一部独紙で報じられたS&Pの格付け担当者コメントだった模様) ・シュレーダー-独首相「ユーロ高、原油価格の動きを懸念」	ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	103.02 103.00 104.28 103.83	140.22 140.08 141.57 141.28
04/12/30 (木)	東京は年末月末のゴト-日要因などで早朝はややドル高。しかし、そこは絶好の売り場で結果行って来い。欧米は発表された米指標が予想以上の悪化となりドル売りに寄与。ユーロ/ドルは1.3670ドルと最高値更新。	・12月の財務省介入額はゼロ ・12月の米シカゴ購買部協会景況指数61.2		ドル円 ユーロ円	24H 寄付 安値 高値 終値	103.83 102.86 104.20 103.05	141.28 140.33 141.59 140.52

04/12/31 (金)	東京市場が休場となるなか、年末調整的な動きから円が対ドル、ユーロともしっかり。 欧米はアジアタイムの流れを継ぎ円が引き続きしっかり。とくにクロスでの強さが目に付いた。	・東京、独市場などが休場		ドル円	ユーロ円	24H
				103.05	140.52	寄付
				102.30	138.91	安値
				103.13	140.60	高値
				102.74	139.03	終値

* 製作・著作；「FXニューズレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>